

令和5年度第3回国立市学校給食運営審議会

会場： くにたち食育推進・給食ステーション会議室

日時： 令和5年11月22日（水）午後2時から午後2時40分まで

出席委員： 赤迫委員、白井委員、橋口委員、田中委員、片山委員、戸田委員、村上委員、小野委員、田村委員、林委員、二俣委員、久保委員、山元委員、里道委員、堀端委員（15名）

事務局： 土方給食ステーション所長、宮本所長補佐、久保主査、塩塚運營業務統括責任者（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）

【片山副会長】 これより令和5年度第3回国立市学校給食運営審議会を開始いたします。

本日は、お忙しい中、御出席をいただきましてありがとうございます。

本日は、大山会長がおけがをされ、御欠席でございますので、前回からの引き続きとなりますが、副会長である私が司会進行を務めさせていただきます。

では、本日の出欠席の状況ですが、先ほど申し上げましたとおり、校長会代表である大山会長、学校医代表である七条委員、学識経験者である東京都多摩立川保健所の伊藤委員より、欠席する旨の連絡をいただいております。

それでは、まず資料の確認をしたいと思っております。事務局よりお願いします。

【事務局】 それでは、議事に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

事前にメールいたしました資料1-1の令和5年度事業報告、資料1-2、1-3で、学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について、資料2として、稲城市立学校給食共同調理場第一調理場と書かれた御案内のパンフレットになります。

また本日、運営審議会の次第及び席次表を机上配付しておりますので、よろしくお願いたします。

過不足等ございますでしょうか。——ありがとうございます。以上です。

【片山副会長】 議題1、事業報告について。それでは（1）の事業報告についてを議題とします。

事務局から報告をお願いします。

【事務局】 それでは、事業報告につきまして御説明いたします。資料番号1-1を御覧

ください。

まず、9月21日の令和5年度第2回運営審議会から本日までの事業等の主なものについて御説明させていただきます。

9月26日の第五小学校2年1組の給食で「かぶとベーコンのしろみそスープ」に全長1センチ程度の小虫が混入してしまいました。当ステーションで異物を確認いたしましたが、昆虫の種類の特定には至りませんでした。

混入経路につきましては、食材であった小松菜に付着していた可能性が考えられ、納品後の下処理として、小松菜を切った後、区分けしたシンクを使用して、洗浄作業を3回行ってありますが、付着していた昆虫を落とし切れなかったことが原因であると考えております。

今後は、水槽バブルジェット水流・水・水で洗浄を行っていたところを、小松菜の根を落として長いまま、水槽バブルジェット水流・バブルジェット水流・水の順で行う作業工程の見直しをし、目視確認を強化して再発防止に努めるとシダックスより説明がございました。

今回の件を契機として、さらなる衛生管理や衛生意識の向上を図るなど指導を徹底し、このような異物混入が起こらないよう、細心の注意を払って作業するよう指示いたします。

2年1組の児童及び保護者の皆様には、大変御心配をおかけしましたことをお詫びするとともに、重ねてこのようなことがないよう注意し、安全で安心な給食の提供に努めてまいりますので、どうかよろしく願いいたします。

10月4日に、学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について（お知らせ）を全校配布の形で送付してございます。これは、9月26日及び27日、外部機関による検査の結果、シイタケ（岩手県産）、マイタケ（群馬及び新潟県産）に微量の放射性物質が検出されました。食材として御提供する前の検査ですので、学校給食食材として使用することはございませんでしたが、従前に倣い、保護者様宛ての文書を送付したものでございます。具体的な測定濃度につきましては、後ほど御説明いたします。

16日から31日にかけて、市内に28園ある認可保育所・幼稚園・認定こども園の年長組保護者向けに、「もうすぐ始まる小学校給食、就学時健診日を利用して試食してみませんか」と銘打って、広く市民の皆様方に学校給食への理解を深めていただけるよう、保育園や幼稚園などに通園していて、市立小学校への入学を考えているお子様やその保護者の方々などを対象に、試食会を計5回実施いたしました。延べ27人の方の参加がございました。

27日には、モンゴル国ダランザドガト市訪問団が視察及び試食に来所されました。教員や医師からなる20名余りの方が参加されており、モンゴル国は、自校方式の給食提供しか

していないことから、熱心にセンター方式の給食提供について質問されておりました。その後、第二小学校に移動され、実際の給食風景や学童保育所風景まで視察されたと聞いております。

また同日には、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会給食運営管理研究部会及び献立研究部会が、それぞれ羽村市と小平市で開催され、国立市から給食運営管理研究部会に所長補佐と栄養士主査の2名が、献立研究部会には栄養士3名が出席いたしました。

11月2日、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会会長会が福生にて開催され、私、所長が出席いたしました。

9日には、全校保護者宛てに「学校給食納入食材の産地偽装について」のお知らせ文を配布いたしました。これは、神奈川県相模原市にある株式会社寿食品が、外国産の食肉を国内産と偽装して販売していたことが判明したことによるものでございます。

当ステーションでは、学校給食の主要食材については、原則として国内産食材を使用しております。株式会社寿食品とは、直接契約したことはなく、契約したA社が納品した食肉が、株式会社寿食品の商品でございました。

また今回、問題となっております食肉については、国立市学校給食用物資納入基準書に則り、入札時の規約に国内産であることを明記し、食材の契約に際しては産地証明書を提出させているところであり、株式会社寿食品の商品についても、これまで納品された食材全てに産地証明書を提出させておりました。

上記業者の商品の取扱いは、10月23日以降、停止しており、食材は別の事業者が発注しているため、献立の変更等、学校給食の提供に影響はございませんでした。

この影響は、独自の調べでは、分かっているだけで、少なくとも多摩26市中18市の自治体で納入実績があり、今後につきましては、東京都をはじめ、関係機関の調査に協力するとともに、調査結果について注視し、結果が判明した場合には、改めてお知らせいたします。

11日には「国立市農業まつり」が開催され、当ステーションも出店いたしました。当日は、低温殺菌牛乳とパステライズドコーヒーミルクを販売しながら、試食会の御案内や、国立市の地元企業で、学校給食でも提供している「みそ大豆」を無償配布いたしました。

何分初めての出店だったため、牛乳を何本用意してよいか、はかり知れないところであったのですが、前年度に焼きそばやフランクフルトが、土日の2日間で、360個程度売れたという実績を聞いていたので、売れてもその半分程度かなと考えておりました。ただ、本数に関しては東毛酪農さんに一任いたしました。お任せした結果、低温殺菌牛乳150本、パ

スチャライズドコーヒーミルクを200本の計350本を用意され、正直これは売れ残るなど感じました。しかし、寒風吹きすさぶ大変寒い日だったのですが、販売価格に関しては、1本150円という、定価の20%から30%オフで販売したこともあり、350本用意いたしました。定刻より1時間前に完売いたしました。

最後に本日、第3回の運営審議会という経過でございます。

以上、主なものについて報告させていただきました。

続きまして、資料1-2でございますが、外部機関による放射能物質の測定検査結果につきましては、資料のとおりでございます。

先ほど申し上げました資料1-2の上段の表に、しいたけ（岩手県産）、まいたけ（群馬及び新潟県産）のセシウム137の濃度が、それぞれ1.5、1.6、1.7ベクレルと記載されております。よって、資料に記載のとおり、使用を中止し、献立を変更したところでございます。

最後に、10月、11月使用分の給食物資の予定産地と地場野菜の使用予定も、同資料に記載してございます。

報告につきましては、以上でございます。よろしく願いいたします。

【片山副会長】 報告が終わりました。御質問や御意見がありましたら、お願いします。

久保委員、お願いします。

【久保委員】 国立二中の久保です。よろしく願いいたします。

何点か質問があるんですけども、11月11日の国立市農業まつりに給食ステーションとして出られたというのは、大変いいことだと思ひまして、また、牛乳のほうも完売したということで、とてもうれしく思ひます。その場で飲まれた方がもしいて、感想などをもし聞いていらしたら、お願いしたいということと、あと写真とか動画があれば、ぜひ拝見したいと思ひますので、よろしく願いいたします。

【事務局】 寒かったので、持ち帰った方が多かったです。そこで飲んでいただいた方もいらっしゃるって、とても飲みやすいというか、上の部分がクリーム状になっていることを目で確認して、とてもおいしい。それから、一般的に売られているコーヒーミルクというのは、ほとんど牛乳が入ってないんですけど、その辺も配合を確認してくれて、本物のコーヒーミルクだねといってくれた。そんな感想をいただいています。

すみません。写真や動画は。

【事務局】 写真や動画に関しましては、個人的に撮った方はいらっしゃるんですが、

先ほど、農業まつりを担当した農業振興担当に電話したんですが、写真は撮っているということなんですが、そこにうちが写っているかどうかは、ちょっと分からないので、確認が取れなかったんですが、もし確認が取れて、いい写真があるようでしたら、御提供させていただきます。よろしく願いいたします。

【久保委員】 ありがとうございます。前々からずっとお願いしているとおりに、こういった御時世ですので、旧ツイッター、Xもされているので、やはり写真とか動画というのは、今後の資料を残すためにも非常に重要ですし、また来年、もし農業まつりに参加されるのであれば、そのときの資料にもなると思うので、ぜひ撮りためていただくようお願いしたいと思います。ありがとうございます。

【片山副会長】 ほかにございますでしょうか。

堀端委員、お願いします。

【堀端委員】 事業報告ありがとうございます。異物混入の件についてお聞きしたいんですが、異物があったということは、あつてはならないんですけど、なかなかやっぱり、小松菜がということだったので、取り切れなかったのかなという部分があるんですが、その後の対策として、従来はバブルジェット・水・水のところを、バブルジェット・バブルジェット・水の洗浄方法の変更ということを今、お話しいただいたんですけど、それは、バブルジェットをするには、それなりの機械が要ると思うんですけど、1槽目と2槽目に、要するに追加機器を入れた結果なのか、運用上の変更で対応されているのかということをお聞きしたいと思います。

【事務局】 お世話になります。統括の塩塚です。運用上の変更という形で、やらせていただいております。

【堀端委員】 ということは多分、皆様あまり想像できないので、3槽シンクって、一般的には1槽目・2槽目・3槽目と洗うのもので1槽目にバブルが入っていて、そうすると、1回移して、1槽目の水を取り替えて、また戻してという理解だと、厳密にはバブル・水・バブル・水・水に増えたという理解でよろしいですか。

【事務局】 そうです。

【堀端委員】 ありがとうございます。なので、洗浄回数が増えたということで、ありがとうございました。

【片山副会長】 ほかにございますでしょうか。

小野委員、お願いします。

【小野委員】 六小の小野です。先ほど久保さんがおっしゃっていた国立市農業まつりというのがあったと思うんですけど、また12月に「くにたちマルシェ」というのが開催されますが、そういう国立のイベントにこういうふうに参加していく予定な感じですか。ちょっと教えていただきたいです。

【事務局】 お答えいたします。実際のところ、準備、大変だったんですね、農業まつり参加するのに。多分、マルシェに限らず、例えばさくらフェスティバルとか市民まつりとかって、いろいろイベントはあると思うんですけど、好評だった分、やってよという声かけられるのが非常に怖いんですけど。今回、東毛さんも本当に協力して、価格もかなり交渉して勉強していただいたんで、東毛さんに限らず、ほかの業者もいますので、参加していくことは、マルシェもやっているところは都市農業担当というところなので、同じところなんで、農業まつりの成功をもとに、またマルシェも出してくださいってお願いされる可能性あるかもしれないんですけど、今のところ、そういう話は出てないので、こちらから、これも出たい。あれも出たいというのはなかなか難しいと思うんですが、お声がかかれば、無理のない範囲で、給食提供とかに当然影響しないような形で、準備が進められるんだったら、積極的に、先ほど言いましたさくらフェスティバルとか市民まつりなんかにも出店して、ぜひ、給食ステーションのアピールをしていきたいなというふうに思っております。

【小野委員】 ありがとうございます。

【片山副会長】 ほかにございますでしょうか。

久保委員、お願いします。

【久保委員】 二中の久保です。よろしく願いいたします。

度々、物資納入登録業者選定委員会ですとか、献立作成委員会の予定などを書いていたいているんですけども、今日、会長がお休みなので、この質問をするかしないか迷ったんですが、今後、物資選定と献立作成を、回数を減らすというような話も出ているというふうに伺っております。

新しい給食センターがPFIになっているということで、市が当然、主体になって、いろいろ決めていくということとか、責任持ってやっていただくというところは変わらないと思うんですけども、移ってきて、まだ間もないので、保護者さんの目ですとか必要になるかなと個人的には思うんですけども、この辺り、回数が減っていくという話については、どう折り合いをつけていくのかとか、その辺り、市としてはどうお考えなのかをお聞かせいただければと思います。

【事務局】 確かに、ここで各校のPTA連合会のほうから、協議会のほうから、献立作成委員会、物資選定委員会、共働き世帯が多い中で、出席するのは苦しいというお話で、要望はいただいております。

その中で、ただ、特に物資選定というのは毎月やらなくてはいけないもので、なおかつ、入札ですので、どなたかがやっぱり確認していただくということは必要かなと思っております。その中で、どう折り合いをつけていくかということなんですが、回数を減らすということも、一つの案かもしれないですし、文書によって開催するというところもあるのかもしれないですし、あるいは、全学校の保護者の方にお集まりいただかなくても、輪番制でやっていくということも可能かなと思っております。

この辺については、回数を減らすというのは、私自身は消極的でございます。やっぱり皆さんに確認していただいて、皆さんの、保護者も含めてつくっていく給食が国立の特質的なものだと思っていますので。ですので、今のところは輪番制がいいのかななんて、個人的には思っているところではございます。以上です。

【久保委員】 ありがとうございます。たまたま産地偽装という話が出たからというわけではないんですけども、やはり食材ですとか、そういったことについては、引き続き保護者が関心を持っていただくというのは非常に重要だと思うんで。それと同時に、例えばいつやるとかという情報については、これまでオープンにはされてきているんですかね。何か学校のPTAの人しか御存じないというイメージがありまして、もうちょっとオープンにできる範囲であれば、事前にちょっと言っていただくとかすれば、我々も参加できるのかなという。輪番制にしてでもいいですし、誰も保護者がいないということがないようにして、どうにかできないかなというふうには考えております。ありがとうございます。

あと、このまま引き続きもう一点。何か今年の校長・会長会で、こちらで何か試食会を行うみたいな話もちょっと聞いたんですけど、来月かな。そのとき御意見いただいて、それをこちらにフィードバックしていただくという予定とかあったら、お願いします。

【事務局】 多分、おっしゃっているのは12月4日の件だと思うんですが、当初は校長会のほうで、担当している第六小学校の小菅校長先生のほうから、3時15分からPTAの会長さん11人、校長11人と、施設見学とか会議を開きたいということで、いただいたんですね。

その後、せっかくだったら、PTAのほうから、試食も兼ねてというお話で今、時間については、24日に校長会があるので、そこで本決まりになると思うんですけど、一部、会

議時間を早めて、試食をPTAの方にやっていただいた後に、2時ぐらいから校長会とPTA連合会の話し合いがあって、そこで、私どもが食をテーマにした講話をしなくちゃいけないんですけど、私たちを含めた、会議というよりは、その講話がまず大きな話なんですね。

その後、多分、私たちを抜きにして会議を開いて、最後に校長会を開くとおっしゃっていたんで。中に、校長先生に、教員不足で担任も兼務されている方もいらっしゃるんで、実際に2時からとか始められるのかというのは、ちょっと、校長会の推移を見てみないと分からないんですけど、せっかく試食やりますので、その試食のときにでも、いろいろな、その校長・会長さん11人の方の意向も、お話を聞きながら、今後の検討課題の一つにしていきたいなと思っておりますので、やっていきたいと思います。

【久保委員】 回答ありがとうございました。どうぞ引き続きよろしく願いいたします。

【片山副会長】 田中委員、お願いします。

【田中委員】 二小の田中です。よろしくお願いします。

10月16日、未就学児向け保護者等向けステーション見学及び試食会が行われたと書かれているんですけども、市内28ある園の年長さんが延べ27名とおっしゃっていたんですけど、これは、想定よりも多かったのか、少なかったのかということと、あとは、感想等があれば、こちらで共有していただけたら、うれしいなと思います。お願いします。

【事務局】 まず、27名なんですけど、実は去年、昨年度も同趣旨の行事をやったんですけど、実は70名だったんですね。ですので、大変少なかったんです。

これに関しては先月、幼稚園PTA連合会との話し合いがありまして、そこで、うちの教育長のほうが、「いや、実はやったんですけど、少なかったんです」というお話をして、「ぜひ皆様、協力を」というお話をさせていただいたんですね。

そうしましたら今度、保育園とか幼稚園を主管している課長のほうから提案がありまして、来月になると思うんですけど、せっかくなんで、公営・民間と関係なく幼保の園長先生や副園長、あるいは給食を担当している方を集めて、一回、施設見学と試食をして、ここで試食をしてもらおうという話になっております。ここで試食をしていただいて、見学していただければ、あ、こういう施設なんだ。じゃ、来年に向けてお勧めできるなというふうになるんじゃないかということで、大変いい企画だなと思っていまして、それをやりたいと思っております。

以前、未就学児に参加していただけませんかと私、個人的に園長先生にも電話しましたら、あおとり保育園ってあると思うんですけど、あちらの5歳児の方が施設見学に来られる

というのが、実は今日決まりまして、そういう意味では確実に保育園や幼稚園の関係者の方も、給食ステーションに関する理解が深まっているから、来年はもっと増えるかなとは思っております。

あと、お子様や保護者の感想につきましては、ちょっとお待ちください。

【事務局】 感想を幾つかいただいているんですが、まず、どんなところで、どんな人が作っているかというのを確認できたのがよかった。それから、ちょっと難しかったようですが、配膳体験なんかもしていただいたり、小学校給食の量を知ることができてよかったということと、あとは、一緒に来ていただいた保護者の方からは、昔の給食に比べて格段においしくなっていて、楽しみですという声をいただいています。

【田中委員】 今、来月、こういう予定があるとか、あと感想を聞いて、なかなかこう、数字だけじゃ、来られた方が27名だと、不評だったのかなとか、そういうイメージを持ってしまったんですけど、今後、こういう予定がある。こういう意見をいただいたというのはやっぱり何か広く、いろんなところにアピールできたら、もっと市民の方から、ぜひ試食に行きたいとか、見学したいという意見があるんじゃないかなというふうに思いました。ありがとうございました。

【片山副会長】 ほかにございますでしょうか。——ないようですので、次に移ります。

議題2、視察研修について。それでは、2の視察研修についてを議題とします。

事務局から説明をお願いします。

【事務局】 それでは、視察先として今回、事務局のほうから御提案させていただきます。稲城市立学校給食共同調理場第一調理場につきまして、御説明いたします。資料2を御覧ください。

まず、視察場所として選びました稲城市についてですが、実は令和3年度の視察先として予定していたところがございますが、当時、新型コロナウイルス感染症が猛威を奮っておりまして、やむなく中止としたところがございます。今回、再チャレンジということで、視察先として選定いたしました。

稲城市は、国立市と大変似通っている市であるということと言えます。これは、国勢調査を基にした人口と産業構造、細かく言うと産業別就業人口の比率となりますが、このような数字が財政分析比較表及び歳出比較分析表において、全国の市町村の中で、国立市と同じ分類の団体に入っております。

そして、その稲城市にある令和3年度より開設された学校給食共同調理場は、資料の表紙

の中段に記載されております施設概要にありますように、調理能力が6,500食、食物アレルギー対応食が100食となっており、本市の食育推進・給食ステーション調理能力が約5,100食、アレルギー対応食にも対応となっておりますので、ほぼ同程度であると言えます。

また、敷地面積につきましては、国立市が3,800平方メートル余に対しまして、稲城市が2,900平方メートル余と一回り小さく、そのほか建築面積と延べ床面積につきましては、国立市については、建築面積が1,993平米、延べ面積が3,556平米で、建築面積では、国立市のほうが若干大きいのですが、逆に延床面積は、稲城市のほうが若干大きいということになります。これは、国立市が2階建てに対して、稲城市が3階建てであることが要因でございます。

ちなみに、給食調理業務は民間委託しており、献立作成や物資選定、発注などの根幹部分は直営で行っておりまして、国立市での運営方法とほぼ同じでございます。

また、近隣市では大変珍しいのですが、ほとんどの市が1階部分に調理場があるのに対しまして、2階部分に調理場がございます。2階で調理した給食を小荷物専用昇降機により1階に運び、配送車により各学校へ届けるシステムとなっていることが特徴でございます。

皆様は、3階部分より調理場風景を見学していただくこととなります。施設見学者への対応も万全の態勢であると聞き及んでいることから、皆様には、当日お集まりいただきましたら、まずは現状の食育推進・給食ステーションを十分見学していただき、その後、稲城市立学校給食共同調理場第一調理場を視察していただき、今後の国立市における当ステーションの運営につきまして、御意見や御要望をお寄せいただければと存じます。

また、あわせて、視察先から帰ってきまして、国立市の給食を試食していただきたいと考えてございます。本来でしたら、稲城市において試食していただきたいところでしたが、あいにく稲城市は原則、稲城市民のみを対象としていることで、大変残念でございますが、国立の学校給食について、忌憚のない御意見をいただければと存じます。

スケジュール感といたしましては、午前9時頃お集まりいただき、国立市の調理場を視察していただき、その後、バスにて、10時頃到着を目途に、稲城市立学校給食共同調理場に向かい、施設の説明、見学をし、おおむね11時前後に稲城市を出発いたしまして、国立市に着きましたら、試食をしていただき、お昼過ぎに解散ということで考えてございます。

御説明は以上となります。よろしく願いいたします。

【片山副会長】 それでは、御意見や御質問がありましたら、お願いします。——特にな

ければ、よろしいでしょうか。

それでは、年が明けた1月25日木曜日の午前中をめぐり、稲城市立学校給食共同調理場第一調理場を視察することに決定いたします。

議題3、その他。最後にその他ですが、委員の皆様から何かありますでしょうか。

久保委員、お願いします。

【久保委員】 二中の久保です。よろしくお願いいたします。

幾つかまとめているので、ちょっと追って、シダックスの方なのか、市の方なのかもちよっと分からないので、そのまま質問してしまうんですけども、回答の方がお答えいただければと思います。

まず、前回でしたか、小野委員から、たしか御意見が上がったと思うんですけども、配膳のときに、小学校の方かな。レードルが重くて、手に食い込んで痛いという御意見がありますということがあったと思うんですけども、その後、私も近所の小学校に参りまして、配膳の様子を実際に拝見しました。

そこで、確かにレードルが大きくて、手に食い込んでしまって痛いという児童からの意見が実際ありました。ほかに、ふたというか、食缶が非常に固く締まっているので、安心感はあるものの、非常にばねが固い。まだ、やっぱり新しいということもあって、ばねが固くて、けがしたという児童もいまして、この辺りはちょっと何か、各クラスで、どうにかするべき問題なのか。ちょっとセンターというか、カムカムのほうでやってくださるのか、ちょっと分からないんですけども、そういう御意見があったということは共有させていただきます。

あと、配膳員さんにお伺いしましたところ、やっぱり食器が少ないということが非常に児童から声が出ているということで、配膳員さんに「お困りのことないですか」みたいに聞いたら、「私たちのほうは特に何も困っていることはないので、児童から意見をちょっとよく聞いてほしい」というふうに意見を伺いましたので、ちょっとこの場で共有させていただきます。もし、こちらで対応いただけることがありましたら、お願いします。

あと次が、これはオペレーションの問題というか、現場での問題というか、課題というか、質問なんですけど、環境についてということで、ちょっとお伺いしたいんですけども、こちらで使用している洗剤について、環境の汚染というかが、最小限にとどめられるような洗剤をお使いになっているのであれば、それでいいんですけども、そうでない場合は対応いただけるのかなというところをお伺いできればと思います。

取りあえず2点です。

【事務局】 まず、食器の数の話なんですけど、少なくても申し訳ないとは思っております。現状、クラスの人数ちょうどの数を各クラスにお配りしているという形で。ただ、何かあつてはいけないので、各学校の職員室のほうに20から30ぐらい余分に配付しているという形で、想定した数よりも、学校の子供たちの数とかが増えてしまっておりまして、当初、令和2年ぐらいに要求水準書というのを出しているんですけど、それよりもかなり増えていまして、予算の都合もあって、なかなかそろえられないんですけど、今のところ何とかシダックスさんの努力によって、人数と同数だったところを、職員室のほうにもちょっと余分な数を用意させていただいているという形で、しばらくはこういう対応するしかないかなというので、苦しいんですけど、そういうふうな形を取らせていただいております。申し訳ございません。

洗剤のほうはちょっと。

【事務局】 洗剤につきましては、SDSという評価基準が、制度がありまして、それに伴って、洗剤等を選ばせていただいております。主に使っているのは花王製の洗剤という形で、安全性というところ、人体への影響とかそういうことを勘案したものであるというものを使わせていただいております。

以上です。

【事務局】 すみません。レードルについてなんですけど、配膳器具が、申し訳ないんですけど、今、用意したものしかないの、それで配膳していただきたいんですけど、対応できることとしては、もし、このお料理、レードルだと配膳しにくいけど、トングだったらやりやすいよという変更なら、対応はすることができます。

あと、そんなに多くの意見ではないので、もうちょっと皆さんの声を聞いて対応していきたいと思っております。

【久保委員】 ありがとうございます。あと一点、気になっていることというのがあって、これは学校の先生方になるのかなと思うんですけども、ちょっと御意見をいただきたいなというのがありまして、実際に教室に配膳されて持ってくる時のワゴンというんですかね、各教室にあるんですけど。何か国立市のもって、穴が開いてるんですかね。で、今はそこに入る食缶がない。該当する食缶がないんだけど、穴だけは開いていて、それをどう塞いでいるというのも各校に任されているというのが、その小学校の教諭の方がおっしゃるんですけど、それは安全性として、子供さんが何かその建てつけが悪くて、指を挟んでけがしたとかそういうふうにもなってしまうんじゃないかなと思って、ワゴンそのものという

のは、どういう、誰から学校に来ているのかという点ですね。

だから教育委員会から来ているのであれば、ちょっとそこを何とかしていただきたいというのと、あと各学校での取組というか、実際はどうしていらっしゃるところをお伺いできればと思います。

【事務局】 実は今、配膳台の種類が2種類ありまして、1台は、センターの時代から使っていた配膳台、それは丸の穴が開いております。というのは、前はスープなんかは丸食缶だったので穴が開いているんですね。その既存の食膳台も使いながら、新しく2学期からは配膳運搬車も使っているという状態で、今、2台併用で使っているという形になってございます。

ですので、個別食器に替わったということもありまして、並べるものが多くなったので、2台使わざるを得なくなったというところがございます。確かに今度、丸食缶なくなって、全部、四角い食缶になったものですから、実質、穴が開いているという必要はなくなったんですが、各クラスの配膳台、かなりの数があります。

最初、そこのところにカップを置いて配膳するというのも、想定ではしていたんですが、多分、今、各学校の実情ではそのまま、籠のままやっているのかなという気もしております。で、学校さんによっては、用務員さんをお願いして、薄い鉄板を引いて、穴を塞いだというところもあるというのは聞いているところなんですけど、クラスの数が膨大なものですから、うちのほうで例えばそこを塞ぐための予算を確保してという部分では、なかなか厳しい状況がございます。当然、検討している最中ではございますが、今後とも、既存の配膳台、もうかなり古いものもございますので、新しく替えていくという部分もございますので、その辺も勘案しながら、埋めていくかどうかというのは考えていきたいなと思っています。御不便いただいているのは、十分承知しているところでございます。各学校さんで、いろいろ工夫されているということも聞いております。

以上です。

【赤迫委員】 すみません。五小の赤迫です。うちは、その穴のところに食器を置いて使っているという形が、ほとんどのクラスがそうです。そこのところに置こうと思ったら、がたってなっちゃって、食缶自体、落としちゃう可能性が出てくるなという感じだったので、もう食器だけにしようねというので、一応、共通理解を図ってやっています。

【白井委員】 一小の白井です。一小も同じように、穴のところに食缶を置けないので。それも、夏休み中に校内で集まって、試しをさせていただいたんで、そのときに教職員で、

やってみなきや分からないねという感じで、進めているので、その丸いところに置いているのは、どのクラスも今、お皿の入った籠ごと置いて。高さ的に相当いいんですけども、それでやっています。ので、配膳台の不便さは、そんなに来てないというか、工夫すれば何とかなるねというのが、どこの学校も。しょうがないよねという気持ちよりは、別にこれでできんじゃないという感じでやっているのかなと思います。

個人的に、それより気になるのは、ワゴンですか。新しいほうが結構大きいので、教室の中に入れるんですけど、教室は狭いんで、もう並ぶところがすごく狭くなっていて、その辺のほうが、安全というか、並ぶときに危ないというのは、工夫しないとイケないかなと思っています。

以上です。

【片山副会長】 よろしいでしょうか。

【久保委員】 はい、ありがとうございます。何か思わぬところで、新しいほうが難ありというか、大きくて使いづらいということって、御意見いただけてよかったと思います。ありがとうございます。

引き続き先生方には、ある意味、関係ない御苦勞をさせているんで、申し訳ないんですけど。私が行ったところは、担任の先生が穴を塞ぐ板を自分でつくって、自作して置いたというふうにいって、ちょっとそういう、本来のお仕事にプラスアルファになってしまっていて、ちょっとそこは心苦しいなと思ったので、その出どころはどこなんだろうというところで、ちょっと質問させていただいたんですけども、ありがとうございます。よろしく願いします。

【片山副会長】 他にございますでしょうか

【田中委員】 審議会だより作成に当たって、カムカムキッチンのロゴのかわいい子たちを使ったんですけど、その子たちの、きょうだいなのか、3匹なのか分からないんですけど、名前は決まっていますか。決まっていなければ、募集したりとか、何かする予定はありますか。

【事務局】 今のところ、名前ないんですね。募集する予定もないんですけど。

【田中委員】 どう呼んだらいいのか分からなくて。

【事務局】 食品の3原色しか、栄養の3色しか。

【田中委員】 もし今後、試食会とかするのであれば、ちょっとそういった声も、名前を決めるかどうかも含めて御検討いただけたらと思います。

【事務局】 ありがとうございます。

【田中委員】 よろしくお願ひします。以上です。

【片山副会長】 ほかにございますでしょうか。

久保委員、お願ひします。

【久保委員】 二中の久保です。よろしくお願ひします。

ちょっと今の田中委員の話に乗っかる形になるんですけど、そもそもあのキャラクターが、ぽんと出てきたイメージがあるんですけど、どなたが作って、どこまで利用していいのかというのが我々にはありまして。変な話、名刺、新カムカムキッチンオープンということで、ちょっと言葉悪いんですけど、便乗して勝手に使ったんですけど、審議会だよりを発行するときに。そもそも、誰かに許可を得なければいけないものであり、啓蒙ですとか、もろもろ。誰に許可を得たりとか、どこまで使用していいのか。あとまあ、もうやってしまったので、これ事後報告になるんですけど、勝手にしゃべらせちゃったりとかしてるので、気がかり……。

【二俣委員】 一人ずつ切り取って使わせてもらいましたよね。

【久保委員】 そうですね。うん。寛大にお考へいただけたらうれしいんですけど、今のところ、どこに、どなたが著作権を持っていらして、どこまで使っていいのか。どなたと相談させていただいたらよろしいのか、お願ひします。

【事務局】 実はこれ、給食センターができる前に、新学校給食センター開設準備室という部署が今は解体しましたが、ございまして、私たちも入っていたんですけど、そこで、これを、ロゴデザインを作ろうという話になって、プロの方にお願ひしています。当然、費用もかかって、非常に安価でやっていただいたんですが。ですので、お金払って、作っていただいているということなんで、基本的に著作権はうちのほうにあるということで、私たちがのほうに、何かあれば、御相談いただければ、お使いいただいて構わないというふうにしていっていると思います。

【久保委員】 ありがとうございます。そうしましたら、審議会委員のほうで、ちょっと、いいように使わせていただくじゃないですけど、普及というか、皆様に広く知っていただくという目的のもとに、適切に使わせていただきたいと思います。

また、すぐーるを運用しているという学校が多いようですので、フルカラーでの配信というか、デジタルになりますけど、配信できるようになりましたので、使わせていただけたらありがたいと思います。よろしくお願ひします。

【片山副会長】 ほかにございますでしょうか。

事務局のほうで何かありますか。

【事務局】 それでは事務局より、先ほどの視察の件におきまして、2点、御報告がございます。

まず1点目、先ほど御説明いたしましたとおり、国立市に戻りましたら、給食を試食していただく予定をしておきまして、1月25日は、ちょうど全国的に学校給食週間の期間中となっております。かなり先の話となるんですが、期間中はイベント給食を予定しております。くにたち図書館とのコラボ給食で、ヤングアダルト向けの本を幾つか選定して、日替わりで、それにちなんだ給食を提供いたします。

25日は中学校給食で、ハリー・ポッターを意識した給食を提供する予定でございます。献立としては、現時点となりますが、大豆チーズパン、百味ビーンズ風豆スープ、ポークケチャップ、ポテトサラダ、牛乳を予定しております。

また、中学校用の単価といたしましては、298円となっております。当日、御試食いただける方は、お釣がないように御用意いただきまして、当日の朝、ステーションに集合していただきましたら、徴収という形を取らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

最後に、今回の視察を短時間にスムーズに、また実り多きものにしたいと考えてございますので、約1か月前に発出いたします視察の開催通知とともに、皆様に稲城市への事前に質問したい事項も募集いたします。よろしくお願いいたします。

2点目でございます。実は当ステーションを紹介するDVDを試作いたしました。今から、10分程度のものとなりますが、放映いたしますので、御視聴いただき、御意見などあれば、承りたいと存じます。

また、紙ベースのリーフレットも現在、作成中でございます。12月からの本格的な施設見学会や試食会には間に合うように、急ピッチで進めてまいります。

それでは、恐縮ですけど、ちょっと上映の準備が整うまで、しばらくお待ちください。

今後については、以上でございます。

—ステーション紹介動画の上映—

【事務局】 ご視聴ありがとうございました。なにかご意見があれば後ほどいただければと思います。よろしくお願いいたします。

視察の日の試食の関係で、事前に聞いていたものとは変更になっておりましたので、訂正させていただきます。ヤングアダルト向けの本を選定したところまでは同じなのですが、「妖怪

アパートの「優雅な食卓」という本に変わっていきまして、おにぎり2個、最後に笑うの味噌汁とエビの天ぷら、里芋煮、牛乳を予定しています。

【片山副会長】本日の議題は全て終了いたしました。重ねてのご案内となりますが、次回は令和6年1月25日木曜日に稲城市立学校給食共同調理場第一共同調理場への視察研修となりますので、よろしくお願いたします。では、これで第3回学校給食運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。

— 了 —